

報告第2号

平成26年度 事業計画

平成 26 年度 事業計画

今日の更なる高齢化の進展により、医療ニーズが慢性疾患を中心とするものに変化しながら増大している中、医療提供体制の再構築への取組みとして、医療・介護分野においては、これまでの「病院完結型」から、高齢者の多疾病共存型が中心となる「地域完結型」への移行が示された。また、「地域包括ケアシステム」の構築（在宅医療、在宅介護の推進・連携）が重要であること、個人の主体的な健康の維持増進への取組みの奨励が示された。

こうした背景を踏まえ、厚生労働省は平成 26 年 3 月 5 日、平成 26 年度の診療報酬・調剤報酬改定の告示を行った。調剤関連では、主なものとしては、調剤基本料の特例要件（月間 2,500 回超、集中率 90%超、妥結率の設定）の追加、基準調剤加算の要件に 24 時間対応を追加、お薬手帳を必要としない薬剤服用歴管理指導料の特例の追加、後発医薬品体制加算の新計算方式の導入と同加算の 2 段階化が設定された。

今回の調剤報酬改定は、薬価の引き下げを除く本体は、消費税の引き上げ対応分を含め 0.22%増であるが、保険薬局にとっては実質マイナス改定となった。静岡県薬剤師会としては、厳しい環境の中にあっても、持続可能な地域完結型の医療提供体制の構築に向けて、安心・安全な薬物治療の確保のために、医薬品の供給拠点としての役割を一層果たすべく、引き続き努力していく。

薬剤師は、在宅医療・介護において、入院から地域そして在宅へと、医師、看護師、ケアマネジャーなど多職種と連携し、安心して安全、シームレスな医療体制の確保に貢献することが求められている。地域包括ケアにどのように関わるかがポイントであるが、地域完結型においては医師会等との連携が必須であることから、平成 26 年度は「在宅療養推進アクションプラン」に沿っての地域薬剤師会単位の体制整備の充実を図る。

また、昨年、国の方針として、日本再興戦略の中で「薬局を地域に密着した拠点として、一般用医薬品等の適正な使用に関する助言や健康に関する相談、情報提供等を行うなど、セルフメディケーションの推進のために薬局・薬剤師の活用を促進する」と明記された。薬局は生活者からの相談などに適切に対応し、受診勧奨や一般用医薬品の供給、生活指導を行うことによって、疾病予防や重症化を防ぐという役割を担っていることから、本年度は地域健康支援拠点としての薬局機能の充実を図る。

また、本年度は、平成 25 年 12 月 13 日公布の「薬事法及び薬剤師法の一部を改正する法律」が施行される。同法は、一般用医薬品の販売方法に関するルールの整備、スイッチ直後品目及び劇薬の販売に関する安全確保のための仕組みの整備等の医薬品販売に関する規制の見直しなどを主な内容とするものであり、法改正の趣旨を踏まえた適切な販売体制の徹底に努めていく。

また、日本薬剤師会の「生涯学習支援システム」（愛称「JPALS」）の利用促進を含めた薬剤師の生涯学習の推進、薬剤師養成のための薬学教育への対応、医薬品及び薬剤師

の役割に関する正しい知識を広く県民に浸透させるための広報活動、医療安全のための諸活動など、所要の活動の充実に努める。

以上、本年度はこれらの課題に対応するとともに、公益社団法人として、日本薬剤師会並びに県内の地域及び職域薬剤師会との連携の下、次の事業を実施する。

- (1) 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業
- (2) 薬業を通じて医薬品の適正使用等医療貢献に関する事業
- (3) 公衆衛生の普及及び指導に関する事業
- (4) 薬事衛生の普及及び啓発に関する事業
- (5) 地域医療への貢献及び医療安全の確保に関する事業
- (6) 災害時等の医薬品の確保及び供給に関する事業
- (7) 日本薬剤師会等との連携、協力及び支援に関する事業
- (8) 会員の福利厚生事業
- (9) その他会員を対象とした共益に関する事業

<公益目的事業>

薬剤師の倫理の高揚及び学術の振興を図り、薬学薬業の進歩発展を図ることにより、静岡県民の健康な生活の確保及び向上に寄与する事業

I 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業

1 生涯学習の推進

<学術情報部>

- (1) 日本薬剤師会「生涯学習支援システム」(愛称「J P A L S」)の利用促進と地域薬剤師会「J P A L Sの運用に関する講習会」の開催
- (2) 疾患別シリーズ研修会の開催
- (3) 中堅薬剤師レベルアップ研修会の開催
- (4) 日本薬剤師研修センター及び静岡県薬剤師研修協議会が実施する生涯学習事業への協力
- (5) 静岡県立大学薬学部による「薬剤師生涯学習支援講座」への協力
- (6) 研修センター構想あり方検討有識者会議の開催
- (7) eラーニングによる生涯学習・研修システムの検討
- (8) 研修会等の地域・職域薬剤師会への伝達方法の検討

2 薬剤師養成のための薬学教育への対応

- (1) 薬学教育協議会認定「認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ」の開催
- (2) 日本薬剤師研修センター認定「認定実務実習指導薬剤師養成講習会」の開催
- (3) 認定実務実習指導薬剤師フォローアップ研修会の開催
- (4) 病院・薬局実務実習東海地区調整機構への参画
- (5) 地域薬剤師会薬局実務実習担当者会議の開催
- (6) 静岡県立大学薬学部薬局実務実習への協力

- ア 静岡県立大学薬学部学生病院・薬局実務実習協議会への参画
 - イ 平成 26 年度薬学部 1 年生早期体験学習受入薬局の調整
 - ウ 実務実習報告会への参加
 - エ O S C E（客観的臨床能力評価試験）への評価者派遣
 - オ その他静岡県立大学薬学部が主催する関連事業への協力
- (7) 東海薬学教育コンソーシアムへの協力

3 学術活動の推進

- (1) 第 47 回日本薬剤師会学術大会（山形大会）への参加
- (2) 第 47 回東海薬剤師学術大会（静岡大会）の開催
- (3) 日本薬学会等学術団体との連携

Ⅱ 薬業を通じて医薬品の適正使用等医療貢献に関する事業

<学術情報部>

- 1 医薬品及び薬剤師の役割に関する正しい知識を広く国民に浸透させるための「薬と健康の週間」事業の推進
 - (1) 「薬と健康の週間」関連事業への助成
 - (2) 日本薬剤師会「薬と健康の週間」統一事業への協力
- 2 地域・職域薬剤師会主催の健康フェア等への協力
- 3 医薬品試験検査業務の検討
- 4 日本薬剤師会「薬剤イベントモニタリング（DEM）」事業への協力
- 5 高度管理医療機器等の販売業等に係る継続研修会の開催

<職能対策部>

- 6 医療・介護保険制度への対応
 - (1) 調剤報酬請求の適正化
 - ア 調剤報酬請求事務講習会の開催
 - イ 次期調剤報酬改定に関する説明会の準備
 - ウ 保険調剤実務指導員研修会の内容の検討
 - エ 薬歴管理等に関する地域薬剤師会主催の研修会等への講師の派遣
 - オ 東海北陸厚生局実施の保険薬局に対する個別指導において、その措置が「再指導」若しくは「経過観察」であった場合の当該薬局に対する指導の実施
 - カ 審査支払関係団体との調整
 - (2) 調剤報酬改定に関する情報の収集及び提供
 - (3) 東海北陸厚生局等による保険薬局対象の「共同指導」「個別指導」「集团的個別指導」「集団指導」及び保険薬剤師対象の「集団指導」等への立会い
 - (4) 医療の I T 化に伴う処方せん、薬歴、情報提供書類等の電子化に関する情報収集
 - (5) 地域薬剤師会社会保険担当者会議の開催
- 7 薬局業務のためのコミュニケーションスキルアップ講習会の開催

Ⅲ 公衆衛生の普及及び指導に関する事業

＜学術情報部＞

- 1 静岡県血液事業（献血推進キャンペーン）への協力

＜学校保健部＞

- 2 医薬品の正しい知識の普及と、薬物乱用防止のための「薬学講座」の実施
- 3 学校薬剤師講習会の開催
- 4 「学習指導要領」の改訂に伴う学校保健教育に係る学校薬剤師活動の推進
- 5 学校環境衛生活動の充実の検討
- 6 ホームページ学校薬剤師サイトの運営
- 7 地域薬剤師会学校薬剤師担当者会議の開催
- 8 静岡県の「麻薬・覚せい剤乱用防止運動」への協力

Ⅳ 薬事衛生の普及及び啓発に関する事業

＜総務部＞

- 1 会報「しずおか」の発行
- 2 ホームページの充実
- 3 薬剤師職能メディア啓発事業の実施
- 4 報道機関等内外コミュニケーション活動の推進

＜職能対策部＞

- 5 薬事法等関係法令の遵守の徹底
 - (1) 薬局等に必要「掲示物」等に関する情報の提供
 - (2) 一般用医薬品販売制度に関する講習会の開催
 - (3) 一般用医薬品販売制度に関する地域担当者会議の開催
 - (4) 会報「しずおか」への「薬局業務Q&A」の掲載
- 6 セルフメディケーション推進のための研修会の開催
- 7 日本薬剤師会制定「都道府県薬剤師会基準薬局制度」の管理運営

Ⅴ 地域医療への貢献及び医療安全の確保に関する事業

＜学術情報部＞

- 1 スポーツファーマシストによるドーピング防止活動及び教育啓発活動の推進
 - (1) 日本アンチ・ドーピング機構「公認スポーツファーマシスト認定制度」への協力
 - (2) 静岡県体育協会等によるアンチ・ドーピング活動への協力
- 2 医薬品情報管理センターの運営
 - (1) 医薬品等に関する情報の収集及び解析
 - (2) 医薬品等に関する情報の会務組織、医療関係者及び関係機関・団体への提供
 - (3) 患者及び家族等が抱える医薬品等に関する相談・苦情の応需
 - (4) 高齢者医薬品安全使用推進事業の推進

(5) 医薬品情報管理センターのあり方の検討

3 医療安全に関する講演会の検討

<職能対策部>

4 調剤過誤防止対策の推進

(1) インシデント事例の収集及び提供

(2) 調剤過誤防止・医療安全管理講習会の開催

(3) 日本医療機能評価機構「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」への協力

5 薬局における偽造処方せん及び多重受診患者に関する情報の収集及び対応

6 薬薬連携の向上に関する研究

7 医薬分業の進展による薬剤師不足を解消するための薬剤師確保対策事業の推進

8 地域医療の推進

(1) 医療用麻薬に関する研修会の開催

<地域医療部>

(2) 地域医療連携に関する情報の収集及び提供のあり方の検討

(3) 「お薬手帳」の普及の検討

(4) 静岡がんセンター連携よろず相談薬局モデル事業の推進

(5) うつ自殺予防対策のあり方の検討

(6) まちかど相談薬局のあり方の検討

(7) 臨床体験実習の実施

(8) 介護支援事業等向けの「お薬出前講座」の実施

(9) 「在宅療養推進アクションプラン」事業の展開

(10) 静岡県薬剤師会ホームページ地域医療連携サイトの運営

(11) 地域医療関係団体への協力

(12) 地域薬剤師会地域医療担当者会議の開催

<職能対策部>

9 薬事・健康保険団体・機関が行う医薬分業関係事業への協力

VI 災害時等の医薬品の確保及び供給に関する事業

<総務部>

1 災害時における携帯電話情報連絡システムの普及

2 医療救護活動に関する防災訓練の実施

(1) 大規模地震発生時における被害状況調査に関する連絡訓練の実施

(2) 静岡県総合防災訓練及び地域防災訓練への協力

(3) 災害薬事コーディネーターの養成

3 地域・職域薬剤師会災害対策担当者会議の開催

4 都道府県薬剤師会災害対策担当者との連携の検討

5 静岡県薬剤師会防災計画「薬局・薬剤師防災マニュアルー実務編Ⅲー」の作成

<収益事業>

<総務部>

- 1 毒物劇物取扱者試験準備講習会の開催
- 2 斡旋書籍及び諸用紙の販売
- 3 事務室の賃貸

<管理部門>

<総務部>

- 1 地域・職域薬剤師会の法人化の支援
- 2 会員拡充対策の検討
- 3 地域・職域連絡協議会の開催
- 4 危機管理（災害対策を含む）への対応
- 5 会員（会費収納）管理システムの構築の検討
- 6 薬事功労者、学校保健功労者等の表彰及び推薦
- 7 日薬共済部、薬剤師年金、薬剤師国民年金基金、薬剤師賠償責任保険及び個人情報漏洩保険への加入の促進
- 8 静岡県医師会、静岡県歯科医師会、静岡県病院協会、静岡県病院薬剤師会、静岡県薬事振興会等関係団体との連携・協力
- 9 静岡県薬剤師会館の管理運営